

鋼板接着用エポキシ樹脂注入剤

サンユボンド

A-570

鋼板接着用日本道路公団材料施工資料A(第2号)接着剤、ひび割注入剤適合
建設省土木工事共通仕様書(平成7年10月版)注入用エポキシ樹脂適合

サンユボンドA-570は、水に濡れた面や水中下でも完全に硬化し、優れた接着性能を発揮するエポキシ樹脂系接着剤として開発されました。本製品は、コンクリートのクラック補修をはじめとして、ヒューム管や各種パイプなどの接着及び充填など幅広くご使用戴けます。

■用途 鋼板接着用注入剤

■特徴 低粘度: 低粘度で作業性に優れています。
 接着性: 鋼板に対する接着性に優れています。
 収縮性: 無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず充填接着にすぐれています。
 高強度: 硬化後の機械物性に優れています。

■性状

項目	サンユボンドA-570		測定方法
	主剤	硬化剤	
外観	淡黄色液状	淡黄色液状	目視
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	
配合比(主/硬)	2/1		重量比、容量比
可使時間	95分		温度上昇法
硬化物比重	1.1		JIS K 7113

■物 性

項 目	サンユボンドA-570	測定方法
圧縮降伏応力	79 N/mm ²	JIS K 7208
圧縮弾性応力	1.1 × 10 ³ N/mm ²	JIS K 7208
引張強さ	52 N/mm ²	JIS K 6911
曲げ強さ	79 N/mm ²	JIS K 7203
引張せん断接着強さ	15 N/mm ²	JIS K 6850
硬度	82 HDD	JIS K 7215

※測定条件 23℃ 養生条件 23℃/7日

- 使用方法
- 下地処理:コンクリート、モルタル、タイル等の施工面のレイタンス、ゴミ、油分は除去して下さい。
 - 配合:主剤と硬化剤を100/50の重量割合で正確に計量して十分に攪拌混合して下さい混合、攪拌不良ですと硬化不良の原因になります。
 - 可使時間:配合量は、可使時間内に使い切れる量で配合して下さい。雰囲気温度が高いほど、配合量が多いほど可使時間は短くなります。
 - 養生:養生温度は原則として5℃以上で使用して下さい。養生中は振動、水分等の影響を受けないようにして下さい。
- 注意事項
- 作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
 - 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
 - 体質によってはカブれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
 - 膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 - 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。
その他取扱いについては安全性データシート（SDS）をご参照下さい。

平成13年4月 現在